

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	リアン・ラポール	事業所番号	1412301523
住所	神奈川県小田原市南鴨宮3-12-10 2F	管理者名	高橋 良太
電話番号	0465-46-6048	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：リアン・ラポール 実施日程：令和 8 年 2 月 5 日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： JST (Job related Skills Training)職場での対人スキルトレーニング テーマ：職場での謝罪 愛知障がい者職業センター柚木様によるJST研修を受講し、その内容を十分に理解した職員が、研修内容を踏まえて、利用者に対しJST研修の資料を用いた職場における「謝り方」に関する勉強会を実施した。また、「謝り方」に関するロールプレイや意見交換、質疑応答も行った。 利用者数：3名（職員1名参加）</p> <p><目的></p> <p>JST研修の資料を活用し、これから一般就労や復職を目指す方々のために、相手の気持ちや考えを理解するヒントを探るとともに、自分の気持ちや考えを職場の上司や同僚にうまく伝えられるようになることを目的とする。</p> <p><成果></p> <p>実施した結果： 相手のためにも自分のためにも「謝罪」という行為が必要だと感じられた。 誰もがミスをする可能性はあり、失敗はつきものだが、その後の対応次第で人間関係や仕事のやりやすさが変わってくるので勇気を持ってしっかり謝ることへの重要性を感じられたと思う。 課題点： ロールプレイでは恥ずかしさや訓練的なこともあり真剣さが足りなかったように感じる。 実際にミスをした場面での話しになると頭が働かなくなりそうとの声もあり、頭ではわかっていても気持ちが追いつかないとお声があった。</p>	<p><活動の様子></p> 
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>ロールプレイでは意見交換が活発に行えました。「謝る」という行為に今は負の感情がなく行えていましたが、実際にミスがあったり、謝らなければいけない場面では言い訳が先に立つことが目立ちます。まずは自分の気持ちとしっかりと向き合い、一番先に必要なことは何であるかを考える力をつけていただきたいと思います。</p> <p>相手のためにも自分のためにも謝るという行為が一つ区切りをつけてくれて、気持ちにも余裕を持たせてくれるということを知っていただけたかと思います。</p>	
連携先企業（担当者）	障害者職業センター 柚木 心平

利用者からの意見・評価

<p>A：初めてのロールプレイで恥ずかしさもあろうまくできなかった。</p> <p>B：実際にミスをした時は頭が働かなくなりそう。</p> <p>C：自分の言い分を言ってしまうまいやう気をつけようと思った。</p> <p>D：普段の業務からすぐに謝れないことが利用者は多く、まずは状況を説明しようと思います。そうではなく、まずミスが起きたことを謝罪してから原因を突き止め再発防止にみんなで協力していけるよう指導していきたいと思いました。</p>
--